

第136回横浜市景況・経営動向調査（令和8年3月実施）（通常調査）

調査結果のまとめ

- ・ 自社業況BSIは、全産業で▲10.6と、前期から横ばいで推移
- ・ 規模別では、大企業が前期より7.5ポイントと大幅に上昇。中小企業は前期より0.5ポイント低下、また中小企業のうち小規模企業は前期より3.5ポイント上昇した

【調査のポイント】

- 今期（令和8年1-3月期）の自社業況BSI（※）は▲10.6と、前期（▲10.6）と比べて0.0ポイントと横ばいでした。
- 業種別では、製造業の今期のBSIは▲12.1と、前期（▲11.6）より0.5ポイント低下しました。非製造業の今期のBSIは▲9.6と、前期（▲9.9）より0.3ポイント上昇しました。
- 規模別では、大企業の今期のBSIは▲3.0と、前期（▲10.5）より7.5ポイント上昇、中堅企業の今期のBSIは▲1.8と、前期（▲1.9）と比べて0.1ポイント上昇となりました。中小企業の今期のBSIは▲13.1と、前期（▲12.6）より0.5ポイント低下、また中小企業のうち小規模企業の今期のBSIは▲14.2と、前期（▲17.7）より3.5ポイント上昇しました。
- なお、今回の調査時期は令和8年1月末から2月下旬であり、中東情勢による影響は反映されていません。

【調査対象】市内企業1,000社（回収数：634社、回収率：63.4%）

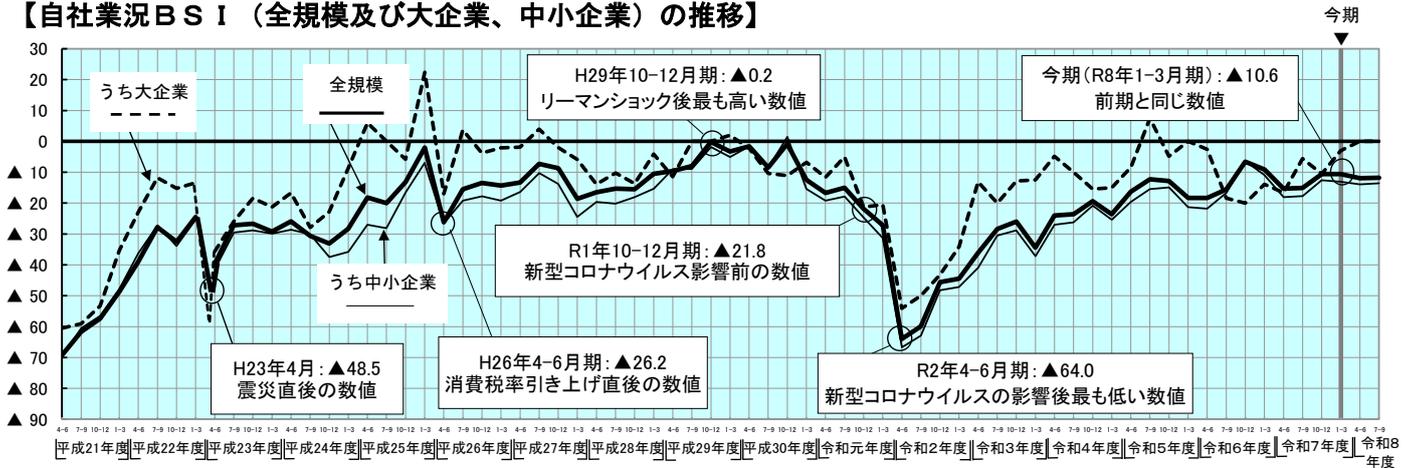
【調査時期】令和8年1月27日～2月20日

※BSI（Business Survey Index）：自社業況BSIは、自社業況が「良い」と回答した割合から「悪い」と回答した割合を減じた値です。

【調査の概要】

1 自社業況判断（自社業況BSI：良い%-悪い%）

【自社業況BSI（全規模及び大企業、中小企業）の推移】



【自社業況BSI（業種別・規模別）の推移】

		令和7年	令和7年	令和7年	令和8年	今期-前期	令和8年	令和8年
		4-6月期	7-9月期	10-12月期 (前期)	1-3月期 (今期)		4-6月期 (来期)	7-9月期 (再来期)
業種	全産業	▲15.3	▲15.1	▲10.6	▲10.6	0.0	▲11.9	▲11.8
	製造業	▲16.4	▲21.3	▲11.6	▲12.1	▲0.5	▲13.5	▲10.9
	非製造業	▲14.5	▲10.8	▲9.9	▲9.6	0.3	▲10.9	▲12.4
規模	大企業	▲16.6	▲5.6	▲10.5	▲3.0	7.5	0.0	0.0
	中堅企業	▲2.7	▲6.9	▲1.9	▲1.8	0.1	▲7.3	▲7.5
	中小企業	▲18.1	▲17.7	▲12.6	▲13.1	▲0.5	▲13.9	▲13.6
	うち小規模企業	▲26.8	▲24.4	▲17.7	▲14.2	3.5	▲22.0	▲21.4

裏面あり



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



【業種別動向】(前期:令和7年10月~12月期、今期:令和8年1月~3月期、来期:令和8年4月~6月期)

業種	前期	今期	来期	ヒアリング対象企業のコメント
食料品等	▲ 6.6 (▲ 7.2)	▲ 20.0 (▲ 21.5)	▲ 13.3 (▲ 14.3)	・原材料の高騰及び、物価高による消費者の買い控えによる売上減少、また人手不足による人件費の高騰により、厳しい経営環境になると予測される。(米菓製造) ・原材料費や人件費高騰により、販売価格を値上げしたため、売り上げが減少している(他のパン・菓子製造)
鉄鋼・金属等	▲ 8.6 (▲ 10.5)	▲ 18.6 (▲ 18.9)	▲ 12.0 (▲ 12.3)	・国内に全体的に仕事が薄く、同業者で価格を下げてしまっている割に、仕入れ価格があがっている。(製缶板金業) ・トランプ関税、円安による海外からの購入材料が高くそれが転嫁できず困っている。(金属製品塗装業)
一般機械	▲ 18.9 (▲ 22.4)	0.0 (▲ 1.9)	▲ 5.5 (▲ 7.8)	・生成AI向け半導体の需要増加により、客先である装置メーカーからのオーダーが増えている。(その他電子部品製造) ・売上高は増加傾向にあるが、コスト高騰/増加による影響は継続。(他産業機械装置製造)
電機・精密等	0.0 (2.5)	▲ 10.9 (▲ 12.8)	▲ 6.5 (▲ 7.7)	・エネルギー・材料費高騰による影響は引き続き大きい。十分に価格転嫁できず利益は下がっている。(配線器具等製造) ・請負(引き受け)工事案件の全体的な減少傾向に加え、原材料価格や販管費コストの上昇が続いており、減益圧力が高まっている。(機械同部品製造修理)
輸送用機械	▲ 10.0 (▲ 6.2)	▲ 5.3 (▲ 6.7)	▲ 5.3 (▲ 6.7)	・観光事業が好調、大型観光バスや路線バスの生産が好調(自動車車体製造) ・国内売上に関して、内示受注数が前年より多い。(自動車内燃機関製造)
建設業	▲ 9.8 (▲ 10.6)	0.0 (0.0)	0.0 (0.0)	・売上は増大しておりますが、人件費の高騰、人手不足が課題です。もう少し価格転嫁できればよいと考えております。(一般電気工事業) ・工事発注は堅調だが、人手不足により受注困難(土木工事業)
運輸・倉庫業	▲ 2.3 (▲ 6.2)	▲ 13.7 (▲ 20.0)	▲ 8.9 (▲ 11.4)	・日中関係や反ダンピング措置などの構えから、輸入鋼材の動きが鈍い。鉄鋼関連の国内需要も薄い。(普通倉庫業) ・乗務員不足・乗客減となってしまっている。(乗用旅客自動車運送)
卸売業	▲ 14.3 (▲ 16.7)	▲ 14.9 (▲ 13.4)	▲ 14.9 (▲ 11.1)	・国内需要について、取引先が価格の観点から海外生産への切り替えを進めているため、海外業者との価格競争を強いられている。(ディスプレイ業) ・人手不足等による工期の遅れが、当社の売上計上にも影響しているため。(建設石材業製品卸)
小売業	▲ 20.5 (▲ 25.9)	▲ 22.3 (▲ 33.3)	▲ 31.1 (▲ 44.4)	・原料調達コストを、なかなか売価へ還元できていない(スーパーストア) ・販売商品の価格改定により、販売価格が高騰し、購買数が減少すると予測される。4月の薬価改定による粗利の減少が見込まれる(医薬品小売)
飲食店・宿泊業	16.7 (10.0)	30.0 (0.0)	20.0 (14.3)	・円安を背景に海外からのホテル会員の利用増、ビジネス客の増加(旅館・ホテル) ・材料となる鰻と米の仕入れ価格の動向により、利益が左右される。コメの価格は高止まりだが、鰻の漁獲量が多く価格が下がった為、結果利益が確保できると考えられる。職人育成が出来ず、生産量を増やせない事が課題である。(日本料理店)
不動産業	▲ 11.8 (▲ 17.6)	▲ 3.3 (▲ 5.9)	▲ 16.1 (▲ 29.4)	・物価高や金利上昇などユーザーにとってのバッドニュースが多い中、見積もり依頼や問合せ件数などは安定して増えてきている。(不動産代理・仲介業) ・今後見込まれる金利の上昇、インフレの加速により不動産価格の変動及び一般エンドユーザーの動向が不透明なため。(不動産代理・仲介業)
情報サービス業	▲ 5.2 (▲ 17.6)	▲ 3.1 (0.0)	▲ 9.4 (▲ 14.3)	・小型案件が多く、技術者のやりくりで苦労している。大きな請負案件受注が少ないため、粗利率も低い。(ソフト受託開発) ・顧客の投資(機械装置購入意欲が不透明)(ソフト受託開発)
対事業所サービス業	▲ 1.7 (0.0)	▲ 10.9 (▲ 14.3)	▲ 1.8 (0.0)	・昨年度実施した設備投資の効果も相俟って売上利益とも好調に推移しており今後もこの傾向は続く。(産業廃棄物処分) ・エネルギー・材料費高騰による影響は引き続き大きい。販売価格以外ほぼ価格転嫁できない(建設機械器具賃貸)
対個人サービス業	▲ 25.8 (▲ 23.8)	▲ 12.5 (▲ 17.4)	▲ 15.6 (▲ 17.4)	・仕入れコスト高による粗利確保が厳しく、賃上げ及び電気等経費高の為経常利益の確保が厳しい。(自動車一般整備) ・取引先の百貨店の売り上げが良い(衣服裁縫修理)

※BSI=自社業況「良い」%-自社業況「悪い」%
 ※今期の BSI (全規模) が前期よりも 10 ポイント以上差がある業種については、矢印を表記している。
 ※表中の見方は右図の通り。

	← 天気マーク(下図参照)
▲ 5.8	← 全規模のBSI値
(▲ 22.2)	← 中小企業のBSI値

BSI	▲60.1以下	▲60.0~▲40.1	▲40.0~▲20.1	▲20.0~▲5.1	▲5.0~5.0	5.1~20.0	20.1以上
天気							



GREEN x EXPO 2027
 YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月~9月 横浜・上瀬谷



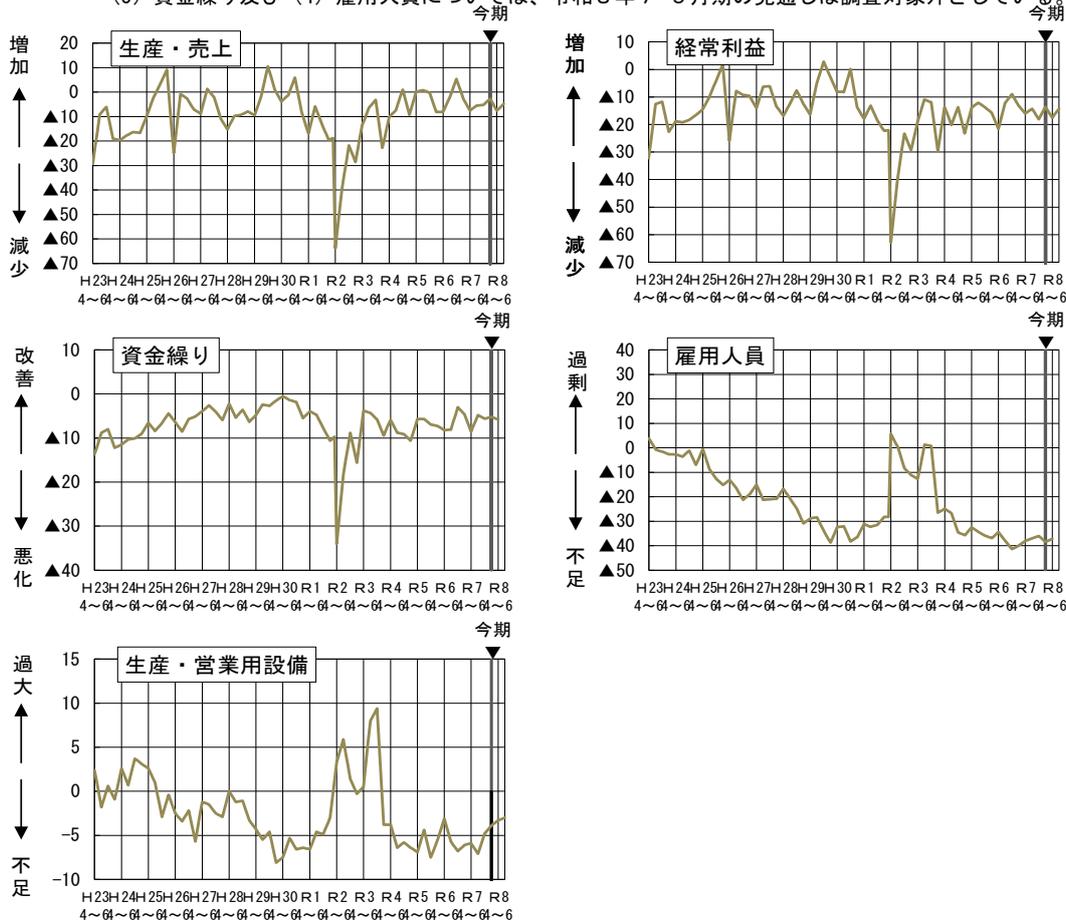
2 主要項目の推移

【主要項目(全産業)の推移】

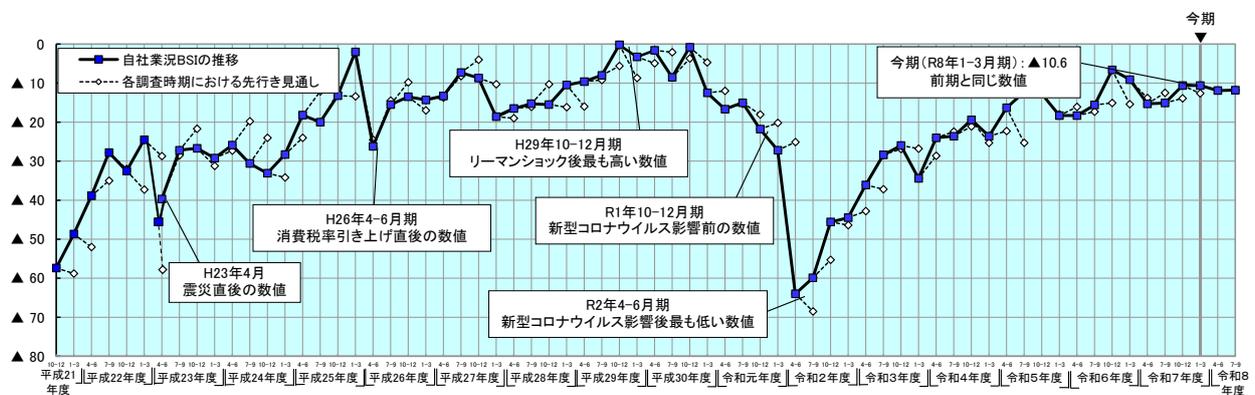
	令和7年 4-6月期	令和7年 7-9月期	令和7年 10-12月期 (前期)	令和8年 1-3月期 (今期)	今期-前期	令和8年 4-6月期 (来期)	令和8年 7-9月期 (再来期)
	自社業況	▲15.3	▲15.1	▲10.6	▲10.6	0.0	▲11.9
(1) 生産・売上	▲7.5	▲5.5	▲5.2	▲2.7	2.5	▲7.5	▲4.8
(2) 経常利益	▲16.0	▲14.3	▲18.1	▲13.6	4.5	▲17.5	▲14.3
(3) 資金繰り	▲8.5	▲4.8	▲5.6	▲5.2	0.4	▲5.8	
(4) 雇用人員	▲38.0	▲37.0	▲36.0	▲38.4	▲2.4	▲37.2	
(5) 生産・営業用設備	▲5.9	▲7.1	▲4.8	▲3.9	0.9	▲3.3	▲3.0

(注) 令和8年4-6月期及び令和8年7-9月期は見通し。

(3) 資金繰り及び(4) 雇用人員については、令和8年7-9月期の見通しは調査対象外としている。



【自社業況BSI及び直近の各調査時期における先行き見通しとの比較】



裏面あり



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



(参考資料) 自社業況BSI (業種別・規模別の推移)

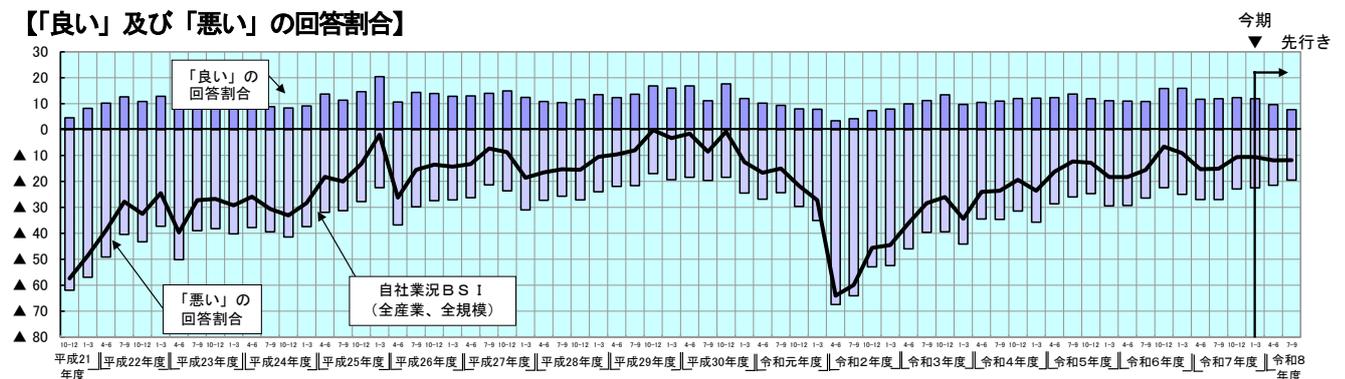
	令和7年	令和8年	今期-前期	1-3月期の回答の割合%			令和8年	令和8年	回答 企業数
	10-12月期	1-3月期		良い	普通	悪い	4-6月期	7-9月期	
全産業	▲ 10.6	▲ 10.6	0.0	11.9	65.6	22.5	▲ 11.9	▲ 11.8	(**) 631
製造業	▲ 11.6	▲ 12.1	▲ 0.5	15.2	57.6	27.3	▲ 13.5	▲ 10.9	264
食料品等	▲ 6.6	▲ 20.0	▲ 13.4	6.7	66.7	26.7	▲ 13.3	▲ 13.3	15
繊維・衣服等	▲ 66.7	▲ 14.3	52.4	14.3	57.1	28.6	▲ 42.8	▲ 57.1	7
印刷	▲ 17.6	▲ 46.6	▲ 29.0	6.7	40.0	53.3	▲ 40.0	▲ 20.0	15
石油・化学等	▲ 21.1	▲ 4.7	16.4	4.8	85.7	9.5	▲ 4.8	▲ 4.7	21
鉄鋼・金属等	▲ 8.6	▲ 18.6	▲ 10.0	11.9	57.6	30.5	▲ 12.0	▲ 5.4	59
一般機械	▲ 18.9	0.0	18.9	24.6	50.9	24.6	▲ 5.5	▲ 7.6	57
電機・精密等	0.0	▲ 10.9	▲ 10.9	15.2	58.7	26.1	▲ 6.5	2.2	46
輸送用機械	▲ 10.0	▲ 5.3	4.7	15.8	63.2	21.1	▲ 5.3	▲ 15.8	19
その他製造業	▲ 4.3	▲ 12.0	▲ 7.7	20.0	48.0	32.0	▲ 36.0	▲ 36.0	25
非製造業	▲ 9.9	▲ 9.6	0.3	9.5	71.4	19.1	▲ 10.9	▲ 12.4	367
建設業	▲ 9.8	0.0	9.8	15.7	68.6	15.7	0.0	▲ 6.2	51
運輸・倉庫業	▲ 2.3	▲ 13.7	▲ 11.4	4.5	77.3	18.2	▲ 8.9	▲ 6.9	44
卸売業	▲ 14.3	▲ 14.9	▲ 0.6	6.0	73.1	20.9	▲ 14.9	▲ 22.4	67
小売業	▲ 20.5	▲ 22.3	▲ 1.8	13.3	51.1	35.6	▲ 31.1	▲ 31.2	45
飲食店・宿泊業	16.7	30.0	13.3	40.0	50.0	10.0	20.0	10.0	10
不動産業	▲ 11.8	▲ 3.3	8.5	3.2	90.3	6.5	▲ 16.1	▲ 20.0	31
情報サービス業	▲ 5.2	▲ 3.1	2.1	9.4	78.1	12.5	▲ 9.4	▲ 6.5	32
対事業所サービス業	▲ 1.7	▲ 10.9	▲ 9.2	7.3	74.5	18.2	▲ 1.8	5.4	55
对个人サービス業	▲ 25.8	▲ 12.5	13.3	9.4	68.8	21.9	▲ 15.6	▲ 18.7	32

B S I (Business Survey Index)は、景気の強弱感を次の算式により求めている。B S I = 良い% - 悪い%

	令和7年	令和8年	今期-前期	1-3月期の回答の割合%			令和8年	令和8年	回答 企業数
	10-12月期	1-3月期		良い	普通	悪い	4-6月期	7-9月期	
全産業	▲ 10.6	▲ 10.6	0.0	11.9	65.6	22.5	▲ 11.9	▲ 11.8	(**) 631
大企業	▲ 10.5	▲ 3.0	7.5	2.9	91.2	5.9	0.0	0.0	34
中堅企業	▲ 1.9	▲ 1.8	0.1	13.8	70.6	15.6	▲ 7.3	▲ 7.5	109
中小企業	▲ 12.6	▲ 13.1	▲ 0.5	12.1	62.7	25.2	▲ 13.9	▲ 13.6	488
うち小規模企業	▲ 17.7	▲ 14.2	3.5	12.3	61.3	26.5	▲ 22.0	▲ 21.4	204
製造業	▲ 11.6	▲ 12.1	▲ 0.5	15.2	57.6	27.3	▲ 13.5	▲ 10.9	264
大企業	▲ 10.0	▲ 10.0	0.0	0.0	90.0	10.0	▲ 10.0	0.0	10
中堅企業	11.1	22.2	11.1	22.2	77.8	0.0	22.2	25.0	9
中小企業	▲ 12.6	▲ 13.5	▲ 0.9	15.5	55.5	29.0	▲ 14.9	▲ 12.6	245
うち小規模企業	▲ 17.1	▲ 12.1	5.0	17.7	52.4	29.8	▲ 17.3	▲ 15.1	124
非製造業	▲ 9.9	▲ 9.6	0.3	9.5	71.4	19.1	▲ 10.9	▲ 12.4	367
大企業	▲ 10.7	0.0	10.7	4.2	91.7	4.2	4.0	0.0	24
中堅企業	▲ 3.0	▲ 4.0	▲ 1.0	13.0	70.0	17.0	▲ 10.0	▲ 10.1	100
中小企業	▲ 12.7	▲ 12.8	▲ 0.1	8.6	70.0	21.4	▲ 12.8	▲ 14.6	243
うち小規模企業	▲ 18.5	▲ 17.5	1.0	3.8	75.0	21.3	▲ 29.1	▲ 31.2	80

(※) 回収数(634件)のうち、無回答数(3件)を除いた値。

【「良い」及び「悪い」の回答割合】



◎報告書掲載 URL <https://www.city.yokohama.lg.jp/business/kigyoshien/tokei-chosa/keikyou.html>



※本件は、横浜経済記者クラブへも同時発表しています。

お問合せ先		
経済局企画調整課長	粕谷 美路	Tel 045-671-2565



GREEN x EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月~9月 横浜・上瀬谷

